

最高級品を 作り続ける

No.39

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。

大谷中14歳の挑戦特別編



僕達が取材しました。



14歳の挑戦をしている人にインタビュー。蟹谷中学校の人は緊張していたので、答えてくれるか心配だったけど、丁寧に答えてくれました。失敗しないように気を付けている。学校とちがって静かで皆真剣に仕事をしておられるところがすごい。自分の行動に責任を持つことを学んだ。これからは学校の掃除を時間いっぱいしたい。実習で学んだことを学校で生かしていきたい。最初は女性下着を作る会社の取材と聞いて戸惑ったけど、実際話を聞いたら、作っているものに対してのこだわりや、一人でミシンを何台も使う技術の高さを感じることができました。これからは自分たちの使うものを大切にしていきたいです。

取材に行くとき会社の入り口が2つあったので入るときに困りました。ランブルは女性用下着を中心に、化粧水等を作っている会社です。部長の鴨島さんに話を聞きました。

縫製作業は全て手作業で行なっています。一人で4台、5台のミシンを使うスペシャリストもいます。

生地は1ミリでもずれてしまうと、左右の模様がバラバラになってしまいますので、生地を二晩寝かせ、伸び縮みが安定してから

裁断を行なっているそうです。

昔は裁断などの危険な仕事は男性がやっていたけど、今では従業員200人中8割が女性で、危険な仕事もすべて女性が行なっています。

製作室では、クレームが出た箇所を直したり、デザイナーからもらった型を実際に作ったりしています。布を切ったり、ミシンで縫ったりと全て手作業でやっていたのを見て、すごいなと思いました。会社の中にはデザイナー



やパンフレットを作る人もいて、女性ならではのファッション感覚と緻密なデータ分析からランブル独自の商品はこのから作られているんだなと思います。

200人も従業員がいると不満を持つ人も出てくるので、それらを解決することや仲介に入ったりなどのコミュニケーションをとることが大切になってきます。

ランブルでは年に2回、社員旅行があります。若い時は『どうして社員旅行』があるのかわからなかった。その分休みにしてほしいと思っていたけれど、今ではコミュニケーションをとるために大切なことと分かった。今では若い人も多く社員旅行に参加しています。『仕事は楽しいですか?』と聞くと、『仕事は楽しくないから仕事。人の嫌なことをやるから決して楽しくはない。』と真剣な表情で話していました。『今の子供たちは夢を持っている人が少ないと思います。夢を持ってがんばる』

てほしい。自分たちの会社も自社ブランドを立ち上げて、自社販売をしていきいという夢がある。大きな夢をもって仕事に励んでいるのが伝わってきました。病気などで身体の自由な方にも女性らしくいてもらいたいので、オーダーメイドで専用の下着を作ることもしています。また、ランブルの社長はブームや流行には乗らず、定番の商品で勝負したいという考えを持っておられます。しかし、鴨島さんは少しは流行に乗ったものを作らないと売り上げが伸びないと深刻な顔をしながら言っていました。年に一度行われるパリコレで今年がこの色が流行すると言ったらそれが流行する。と聞いて不思議だなと思いました。鴨島さんの趣味は野球やゴルフで、クロスラッソという野球チームに所属しているそうです。小矢部の大会で優勝し、県大会に出場すると楽しそうにおっしゃっていました。



ボディファンデーション
ランジェリーの企画・製造・販売
株式会社ランブル
〒932-0131
富山県小矢部市名畑53-3
TEL 0766-61-3777
FAX 0766-61-3778

プレゼント



なめらかな感触で、
お肌を優しく包み込む

Moist Lotion 【化粧水】3名様

募集期間：平成22年8月17日(月)まで
PC・携帯からのご応募：http://www.startaro.com/shop/OYABE_SNS 会員様はキャンペーンに自動応募されます
Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>

ランブルさんの住所をググっても正しくない!!
気をつけろ!



店長からの一言